

地域の人と皆で あいさつをしましょう

掃水まちづくり協議会
たより

平成19年10月16日
掃水まちづくり協議会
NO. 12

見出しの標語は、掃水まちづくり協議会の中心的運動標語です。地域の皆さんのあいさつへの協力をお願いします。

本都役員と評議員さんと 勉強会を開催

九月二十八日(金)七時よりセンターにて本都役員と評議員(十四名の参加)さんとの勉強会を開きました。

これは四月の総会で、評議員さんの役割がはっきりしないとの意見が出ていたこと、また、本年度も九月になりほぼ半ばを迎え、いろんな行事を実施しました。ここで一度、協議会について皆でいろいろ話し合ってみました。

○ あいさつ運動について

・朝、交通指導をしても、子どもたちは挨拶がなかなかできない。どうしたらよいか。

また地区によっても、年齢によっても差があるようだ。

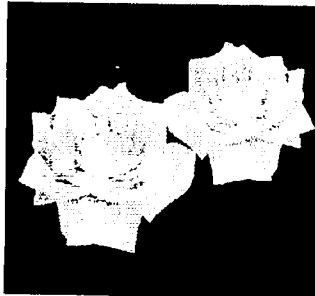
・大きくなると自覚ができてあいさつができる。中学生ができないのは恥ずかしいのではないだろうか。挨拶は家庭の中から

指導すべきもの。我々も小学校へ出向くなど、いろんな機会を捉えて子どもに話しかけ、子どもの信用を得ることが何よりも大切ではないだろうか。また、こちらから笑顔で見本を示すことが大切だ。

○ 協議会行事について

・高齢者学級で、前公民館長の三宅忠行さんに、この地域の昔のことについて話をしていただいた。大変よかったので協議会でも取り上げればどうか。

・小学校で先生が子どもたちに、夏休みで何が楽しかったかと聞いたら、「掃水夏まつり」と言っていたそうだ。子どもたちの印象に残ったのだろう。



・この頃は、それぞれ自治会単位でも人集めはなかなか難しい。なおさら、多くの人と何かことをしようとするのは、本当に難しい。協議会行事はやれることからやっていくことが大切だ。まちづくり協議会は、まだま

協議会で活躍希望の方、募集!

掃水まちづくり協議会で活躍したい方を募集しています。ボランティアの仕事になりますが、例えば、「退職したので地域のこと自分の特技を生かして参加してみたい。」「協議会に参加してこの地区の環境問題に取り組みたい。」「現在勤めているが、こんなことなら関心(経験)があるので皆とやってみたい。」「パソコンができ、この日のこの時間なら空き時間がある参加してもよい。」などと、どんな理由でも結構です。自薦、他薦を問いません。応募してみてください。公民館(市民センター)宛で次のことを記入の上、封書にて応募ください。条件が合えばお願いにあがります。

- 1、お名前と年齢
- 2、住所(所属する自治会組織)と電話番号
- 3、参加したい仕事の内容
- 4、仕事内容に対する意欲、応募理由など

* 応募を極秘にしたい方は、下記宛でも構いません。

会長 久瀬 幸 豊原町1264-1
公民館長 中西 義彦 安楽町50

(これで得た情報は非公開とし、他へ転用致しません。)

だ浸透していないようだ。

・行事の広報としては、月一回の「たより」と自主防犯パトロール隊の自動車だけです。有効に使いたい。毎月の「たより」を住民の方々にはしっかり読んでいただきたい。

・「掃水夏まつり」では組織が機能していたが、運営委員会に属する部会はまだ機能していないようだ。がんばってほしい。

・今年のクリーン作戦では、十月十一日(木)に本都役員が東部中学校を訪問し、中学生に語りかけ、参加を要請した。中学生の環境問題について考える機

会としたい。

○ 評議員について

・評議員には女性も入れて若い人から高齢者までを考えてほしい。地区の人数配分はこのままにしたい。

・総会の議事録署名者は評議員ではないのか。また総会での議決権は評議員でなく、出席者の過半数にしてはどうか。など

「来年もお願い!」

— 掃水夏まつり —

掃水小学校長 石川通子

八月四日の夏まつり終了後、TAのある役員さんが、(裏につく

「夏まつりは、子どもと共に参加することも大事なことです。」とおっしゃいました。夏休み前の担任の話の中にも、『地域の行事に進んで参加しましょう。』とありました。

九月になって、学級で夏休み中のことを尋ねると、次のような話が出ました。

「とても夏まつりが楽しかった。来年もしてほしい。」「キッズの発表がんばった。来年も出たい。」「異口同音、たくさんの子から夏まつりについての声があがったようです。」

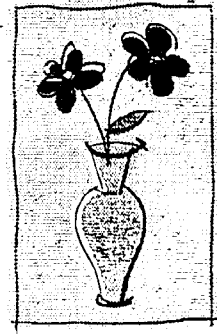
「来年も夏まつりをやってみようにはどうすればよいか。みんな考えよう。」「おじさんに頼めばよい。」「お手紙や絵を持って行けば聞いてくださるかも……。」と、みんなでうんと考えて手紙を書きました。もうすぐ、まちづくり協議会へお願いにあがると思います。

夏まつりを思い出しました。真ん中の屋台を囲む十六張りのテントやトラックの舞台等、何回もの会議で、企画された賜です。

参加者大勢・・・いよいよ五時のスタート。たくさん夜の夜店に子どもたちがワクワク心踊った瞬間です。発表もカラオケ、体操、ダンス……と続き、大きな拍手の渦。出演者の思いも熱気のように伝わってきました。

しかし、途中からのとしゃぶりの

雨。それも警報が出るような。せつかくのまつりなのに残念だな。その時はそう感じたわたしでした。しかし、子どもたちの心には、九年のふるさとの夏がすっかり息づいていました。



たくさんの方の「尽力、ご協力、繋がりの中で創りあげていただいた」地域の行事等を通して「ふるさとを愛する子」が育っていることへのお礼を申し上げます。

子どもたちも体中で感じ、地域の人たちの温もりの中でまつりへの参加。そこには、かけがいのない愛があると思われず。校歌にもありますが、人間として大事な「人の心」を引き継いでほしいと願っています。

水まづくりの子は、地域の方々に見守られ育てられていることを改めて感じました。

シリーズ

あいつついで

あいつついで

水まづくり 六年生

清水町 橋本 龍太

あいつつは、とても大切なことだと思えます。あいつつを毎日、地域の人たちとすることで、自分のことを覚えてもらったり、地域の人たちからあいつつや話をしてもらえと思うからです。その他にも、家の人たちや友達にもあいつつをちゃんと毎日すること、友達ともつと仲よくなったり、家の人とちゃんと生活したりできると思うのです。最終的にあいつつは、いろいろな人と仲よくなれるのです。これからも、ちゃんとあいつつをしていろいろな人と仲よくなりたいです。

あいつつのか

東部中 三年生

伊賀町 格島明日香

夏休み中に「あいつつ」ってすこいと感じたできごとがありました。それは、老人ホーム職場体験に行った時の事です。

私は初め、利用者の方に話しかけることができませんでした。そんな私を見て、職員の方が「あいつつから始めてみたら。」と、アドバイスをしてくださいました。私は、元気よくあいつつをする心を心がけました。それをきっかけに、だんだん会話も弾んでいきました。中には、利

用者の方からあいつつをしてくださり、とても嬉しかったです。しかし、上手く話すことができない方もいます。そんな時に職員の方はしっかりと目を見て笑顔であいつつをしていました。利用者の方は話すことはできないけれど、笑顔で答えていました。

あいつつは、「おはよう」や、「こんにちは」だけの言葉のキヤッチボールだと思っていました。が、あいつつは心でするものだとそのとき私は気づきました。心であいつつをすれば、何か通じるものがあるのではないのでしょうか。

「水まづくり地区防災訓練実施！
於いて 水まづくり小学校グラウンド」

十月二十一日(日)午前九時

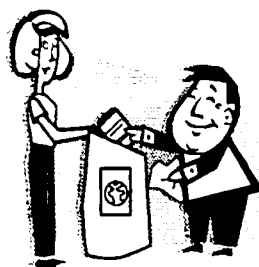
自分のことです。人任せにせず、地域の方も参加してください。

当日は、地域住民の参加による防災訓練を実施します。

内容

- ・ (体験コーナー)
- ・ 起震車体験
- ・ 濃煙体験
- ・ はしご車体験
- ・ 消防の消火器筒先体験
- ・ (訓練コーナー)
- ・ 消火器取り扱い訓練

- ・ バケツ消火訓練
- ・ 消火栓接続訓練
- ・ 土のう積み訓練
- ・ AED取り扱い訓練等。
- ・ 各自治会役員・町内などの役員、自主防災隊員が参加します。
- ・ 一般の皆さんも近所隣り合わせで、お子さん連れで参加をお願いします。



水まづくりクリーン作戦

産業振興部

十一月二十五日(日)

今年、近鉄線路の川下の堤防において、ゴミ拾いを実施します。また、今回は地域の皆さんの動員参加のみならず、小学校、中学校の皆さんの参加を新たにお願いしています。これは将来、この地域を担う子どもたちにもゴミ問題を一緒に考えてもらいたためです。

当日は調理ボランティア・はつらつクラブの協力により「せいでいも汁」を振る舞います。